

島根県の地震

令和4（2022）年5月

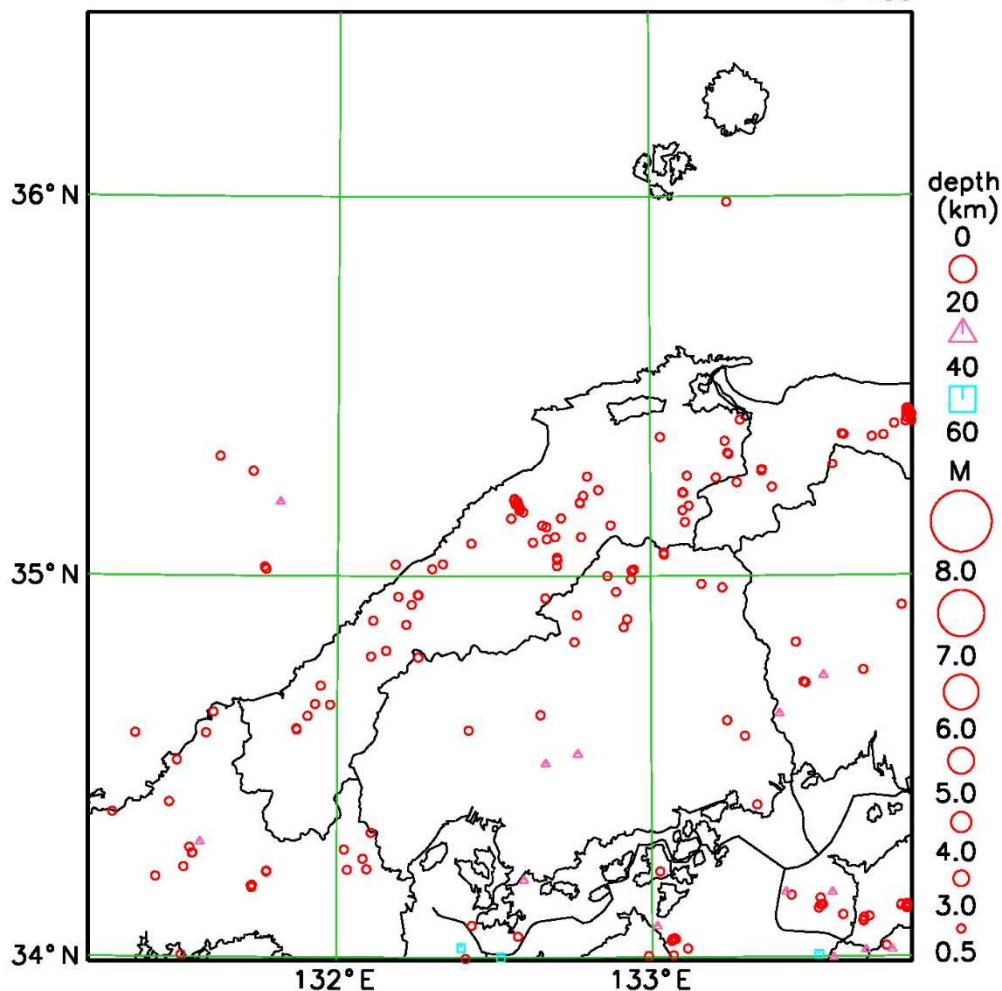
- ・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2022年5月1日～31日

2022 05 01 00:00 -- 2022 05 31 24:00

N=199



[概況]

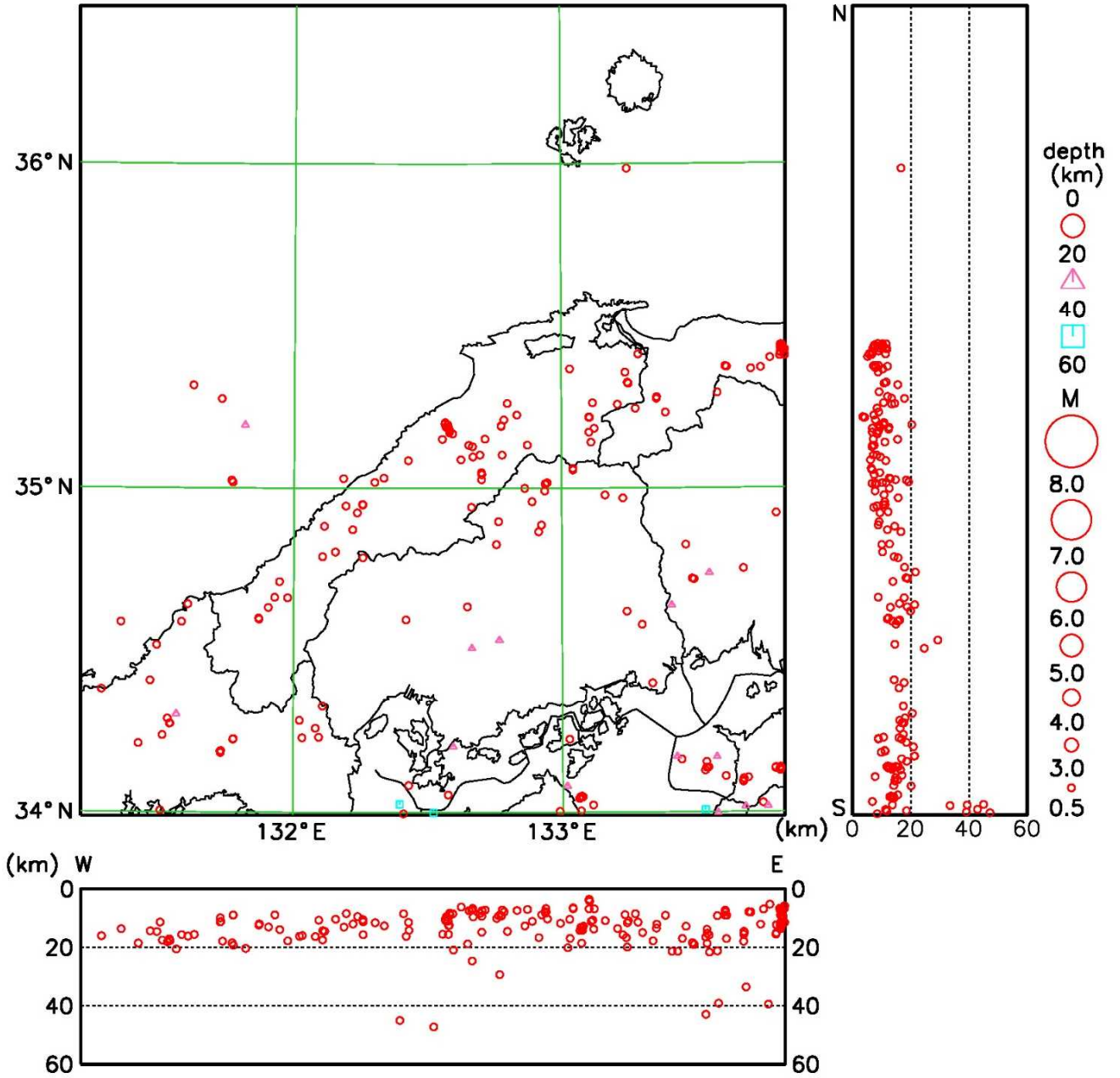
今期間、M0.5以上を観測した地震は199回（4月は206回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

3日15時50分 鳥取県中部の地震（深さ13km、M4.3：地図範囲外）により、松江市・安来市・雲南市・奥出雲町・川本町・邑南町・隠岐の島町で震度1を観測しました。また、鳥取県鳥取市・倉吉市・湯梨浜町、岡山県鏡野町・真庭市で震度3を観測したほか、北陸・近畿・中国・四国地方で震度2～1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

[断面図]

2022 05 01 00:00 -- 2022 05 31 24:00



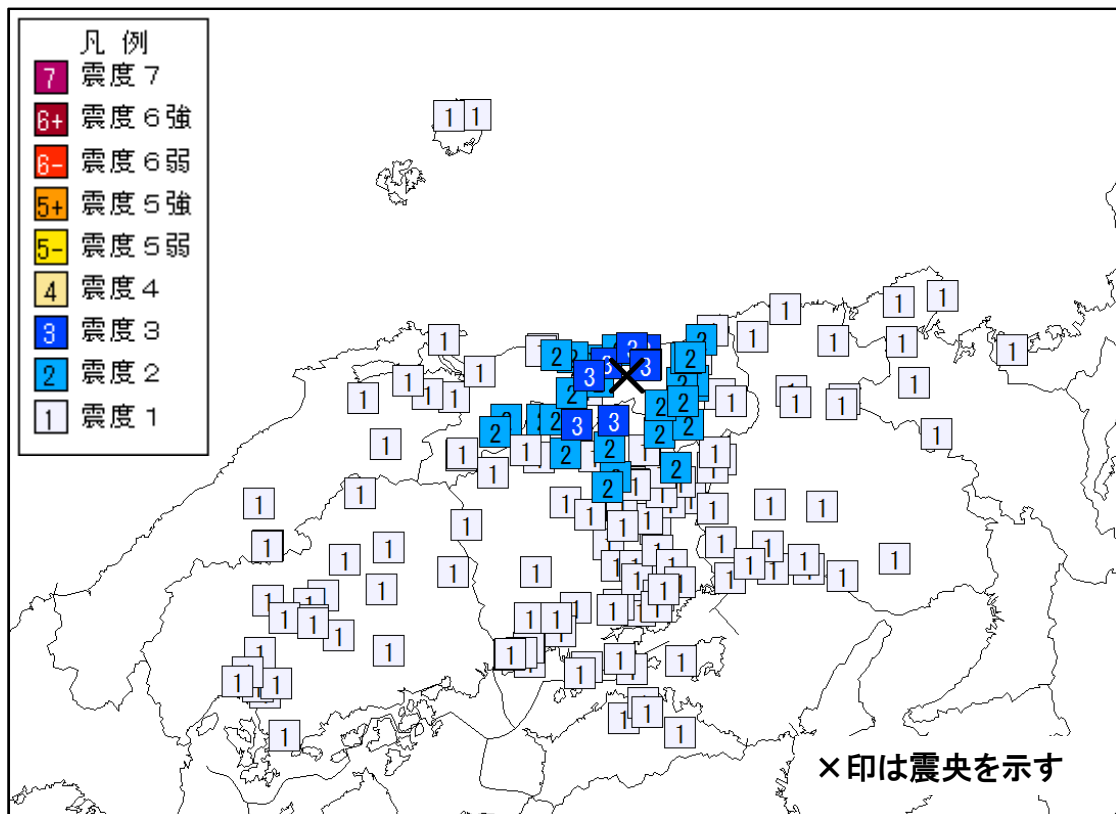
5月の鳥根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（鳥根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年05月03日15時50分	鳥根県中部	35° 25.4' N	133° 59.0' E	13km	M4.3
----- 地点震度 -----					
鳥根県 震度 1： 松江市八雲町西岩坂*、安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*、安来市伯太町東母里* 雲南市加茂町加茂中*、奥出雲町三成*、川本町川本*、邑南町淀原* 邑南町瑞穂支所*、隠岐の島町山田、隠岐の島町布施*					

・ 地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2022年5月3日15時50分 鳥根県中部



津波警報等を伝える手段

津波フラッグ



津波警報等^{*}は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレンなど様々な手段で伝達されます。気象庁では、視覚的な伝達手段として、海水浴場等での使用を想定した「旗」のデザインを定めています。これを「津波フラッグ」といいます。

※ここでは、大津波警報・津波警報・津波注意報を津波警報等としています。

海水浴場等では、津波警報等が発表されたら直ちに避難する必要があります。しかし、このような場所では携帯電話を所持していないことも多く、防災行政無線やサイレンでは、聴覚に障害をお持ちの方に情報を伝達することができません。また、聴覚に障害がなくても、海に入っている場合など、波や風によってこれらの音が聞こえない場合も考えられます。

一昨年（令和2年）夏から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われるようになってきました。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚障害者の方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになりました。

「津波フラッグ」は、海水浴場等で視覚的に津波警報等を伝達する手段として有効です。

新型コロナウイルスの影響で、一昨年、昨年と海開きされなかった海水浴場もあり、どこの海水浴場でも導入されているわけではなく、まだまだ普及途上ですが、「津波フラッグ」の掲出を確認したら、速やかに避難してください。

気象庁ホームページでは、「津波フラッグ」等についての説明やオンライン講演会が掲載されています。これからの海水浴シーズンに向けて一度ご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム>知識・解説>津波から身を守るために>津波フラッグ

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



ホーム>知識・解説>津波から身を守るために>津波防災オンライン連続講演会「津波フラッグと津波から命を守るための基礎知識」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/lecture.html

